

【 重 要 】

保育園での新型コロナウイルスへの対応について【9月11日版】

9月に入り全国的に感染者数が減少傾向にあるものの、まだまだ収まることのないコロナウイルスについての対応を更新いたします。引き続き、窮屈な思いをさせていただきますが、安心安全な保育園運営のためにご理解ご協力くださいますようお願いいたします。

コロナウイルスの最大の敵は「油断」です！
以下の継続にご協力ください。(赤字が変更点です。)

日常保育での園児の感染予防



- 登園前の検温時に37.5度以上の熱があった場合は、登園をご遠慮ください。平熱の高さなど個人差もありますので、各自に合わせた対応に努めます。
- 手洗い、手指消毒を励行します。正しい手洗いを身に付けるため3歳以上児では定期的な手洗い指導を実施してまいります。



あわあわ
手洗いのうた

保護者の皆様へお願いしたいこと



- 37.5度以上の熱の場合は、来園（送迎時含む）をご遠慮ください。
- 園内に入る際はキエルキン(弱酸性次亜塩素酸水)を手指・衣服・荷物等へ散布してください。

2週間の登園自粛をお願いするケース（首都圏などの感染拡大地域【県通知】）

- 園児本人が同居家族と共に上記地域と往来する場合
- 県で自粛を呼びかける上記地域から帰省する家族と同居する場合（同居期間と期間後から2週間）

↳ 県では感染対策を徹底した上で帰省者の自粛を求めない方針ですが、園としては少なくとも9月中は現行のままの対応としたいと思います。

2週間の登園自粛協力を除外するケース（以下の場合には訪問時の衛生対策の徹底は当然のこと、帰宅後の体調管理にも十分注意をして下さい）

- 同居家族のみ（園児本人は行かない）が県通知の上記地域へやむを得ない訪問をする場合
（出張等の仕事・各種試験の受験・就職活動・葬儀・介護等）

保護者様の状況を紙面で把握することまではいたしません。しかしながら、保育園でのクラスター感染を防ぐため、上記の自粛をお願いするケースに該当する場合は保育園まで申し出てくださいますようお願いいたします。除外するケースについても、往来する本人含む家庭内の衛生対策を徹底していただきますようお願いいたします。

保育園ができること



- ・ドアノブ等の共用部やおもちゃの消毒徹底、換気励行
- ・園児の健康観察の徹底（37.5度以上の場合、保護者へお迎えのお願い）
- ・職員が37.5度以上の熱の場合は出勤停止
- ・首都圏（感染拡大地域含む）への不要不急の往来自粛
マスク着用（熱中症に注意しながら。「密」ではない場所では適宜はずしています）
- ・園内立入業者への手指消毒等の徹底

【参考情報】必ず県周知をご確認ください。

- ①園児感染が発生した場合の想定対応（状況により変わる場合があります）市子育て支援課回答
基本的に、保健所の指示の下で市子育て支援課、保育園で協議し対応することになります。
【保育園】感染発覚後、保健所判断による（一斉降園→翌日から休園 消毒作業→以降指示による）
【保護者】全園児が濃厚接触者に該当する場合があります。保健所の指示決定まで自宅待機。
【職員】上記と同様に全職員が濃厚接触者に該当する場合がありますので自宅待機。

②令和2年9月1日 県周知(感染拡大が進む地域との往来に関する強い注意喚起について)

新型コロナウイルスの感染については、全国的に未だ新規感染者の発生が収束していると判断できる状況にはありません。とりわけ、本県は高齢県であり、重症化しやすい高齢者の感染は命にかかわることにつながります。

こうした状況を踏まえ、引き続き県外の感染拡大地域との往来については、真にやむを得ない場合を除き控えていただくよう、強くお願いします。

また、やむを得ない事情により訪問した場合は、接待を伴う飲食店の利用や会食を避けるなど、その行動に最大限の注意を払うとともに、帰県後のご自身の健康観察や周辺の方々との接触には十分留意されるようお願いいたします。

なお、体調に異常を感じたときは決して無理に外出せず、「あきた帰国者・接触者相談センター」に速やかに相談するようお願いいたします。

<感染拡大が進む地域との往来に関する例示>

首都圏など感染拡大地域との往来については、当面、真にやむを得ない場合を除き控えていただくよう、強くお願いします。

感染状況は日々刻々と変化しているため、報道や訪問先の都道府県のHPなどの情報をもとに、適切に判断して下さるようお願いいたします。

【移動を避けていただきたいもの（例）】

観光、娯楽（スポーツ観戦、コンサート鑑賞、レジャー施設の利用等）、知人等への訪問（急を要する場合を除く。） など

【やむを得ない訪問（例）】

出張等の仕事、各種試験、就職活動、葬儀、介護 など

※それぞれのケースを十分勘案の上、慎重に判断してください。

帰省については、感染防止策を徹底した上で行っていただいて差し支えありません。

引き続き、いわゆる三密を避けることやマスクを着用すること、手洗いをこまめに行うこと、大声を抑えること（飲食店・集会所でカラオケや大声での会話を行わない、イベントなどで大きな声を出さないこと）を徹底するとともに、国が提供している「接触確認アプリ（COCOA）」や、「秋田県版新型コロナ安心システム」の活用についてもご協力をお願いします。

特に若者については、症状が出ないことがあるので、油断することなく行動には注意していただくようお願いいたします。

感染者や濃厚接触者、その家族らに対する嫌がらせやSNSでの誹謗中傷などが問題となっております。こうした行為は人権侵害に当たるほか、不安や恐怖心から受診や相談、疫学調査への協力をちゅうちょさせ、感染拡大のリスクを高めることにもつながりかねません。自分のため、地域のためにも、感染した人、関係者には思いやりを持って接するよう、強くお願いします。